

2019年2月1日
東北電力株式会社
東通原子力発電所

試運用フェーズ1実施後の振り返り
(確認対象：放射線被ばくの管理，放射線被ばくALARA活動)

2019年1月28日(月)～2月1日(金)の5日間「放射線被ばくの管理」，「放射線被ばくALARA活動」の試運用を実施いただきましたが，新たな制度での検査を対応させていただいたことで，当社としても，規制庁の確認の視点や検査に必要な情報を理解することができました。今後も試運用を通じて理解を深めていくため，以下のとおり意見を提出します。

- 今回の試運用では，事前に発電所を訪問いただき，必要な資料等について認識を合わせさせていただいたことで，効率的に検査いただけたと考えております。本格運用後においても，発電所に事前訪問いただき，必要な情報収集をしていただけるようご配慮願います。
- 検査を計画的に進めるとともに，視点・主旨を踏まえ，明確に質問いただいたことで，活発なディスカッションをすることができ，今後の本格運用に向けて有意義なものでありました。
- 試運用フェーズ1の目的のひとつに「検査ガイドの改善点の抽出」があります。今回の試運用では，各検査内容の確認行為において一部重複している確認行為が見られたことから，検査項目または，検査方法の整理が必要ではないかと考えます。

以上